

調査参考機関・研究者一覧

○研究機関	資料
国立情報学研究所	「和漢古書に関する取扱い及び解説」
国文学研究資料館	「国文学研究資料館 日本古典籍書誌レコード作成要領」
京都大学	『漢籍目録：カードのとりかた』
○研究者	資料
長澤規矩也	『増訂版和漢古典籍目録法』 『図解古書目録法』
藤井隆	『日本古典書誌学総説』
中野三敏	『書誌学談義江戸の板本』
長友千代治	『日本書誌学を学ぶ人のために』 「重宝記年表稿(一)：江戸時代書冊の部(1)」
大沼晴暉	『図書大概』
堀川貴司	『書誌学入門：古典籍を見る・知る・読む』
櫛笥節男	『宮内庁書陵部書庫渉獵』

用語説明

項目	意味
巻数	巻数と冊数は必ずしも一致しない。巻数は普通、本文の首尾・版心・目録・見返し、扉・外題に記載されることが多い。
漢籍	中国人が漢字だけで書いた書物のこと。この原則が守られていれば、中国以外の国で出版されても漢籍とみなされる
巻頭	一般的には書物の初めの部分をいう。巻首とも。
外題	書物の表紙に記載されている題名のこと。後から別本の題簽が貼られたものも存在するので、外題に加えられた改変には注意を要する。
国書	日本の書物。和書とも。
小口	冊子形式の書物で、書物の本文用紙の切り口が見える部分を小口という。主に下の小口を指す。袋綴じは横にして積むので、下小口しか目には見えないため、下小口の部分に書名や巻冊数を表記することがある。
内題	外題に対し、書物の内部の各所に記された書名のこと。狭義には各巻の本文冒頭に示された巻頭書名をさして内題と呼ぶ場合が多い。一般的には記されている場所を冠して見返し題・扉題・序題・凡例題・目録題・巻首題・尾題などと呼ばれている。
端本	零本のこと。本来巻数や冊数が揃っていた完本がはんばわずかな本になってしまった、そのことをいう。
版心	袋綴じの書物の場合、紙の折り目を中心に、幅1・2cmの箇所。柱とも称する。版心には書名・巻数丁付等が彫り込まれることが多い。

『日本古典籍書誌学辞典』井上宗雄[ほか]編著 岩波書店 1999年